






挨拶の大切さ

1月1日の地震による爪痕がいたるところに残る穴水高校校舎で、令和6年度がスタートしました。奥能登全体が、まだ復興にはほど遠く、皆さんの身体や心も疲弊していると思われますが、現状を受け止め、明るい未来に向けて、力を合わせ、心をつなげて前へ進んでいきましょう。

さて、皆さん、普段何気なく挨拶をしていると思いますが、挨拶はこれから生活をしていく中で、重要なものとなります。また、大げさかもしれませんが、挨拶一つで、今後の人生が変わってしまうかもしれません。なぜなら、挨拶は、社会や人間関係において非常に重要な役割を持っています。その重要性について以下の6つの理由をあげておきます。

- コミュニケーションの基盤**：挨拶は、他者とのコミュニケーションの最初の一步です。相手との関係性を構築し、円滑なコミュニケーションを促進します。
- 信頼の構築**：挨拶は、他者との信頼関係を築くための重要な要素です。丁寧な挨拶は、相手に対する尊重や配慮を示し、信頼を構築する一助となります。
- 社会的な結びつき**：挨拶は、社会的な規範や文化の一部として位置づけられています。適切な挨拶をすることで、所属する社会やグループとの結びつきを感じ、その一員であることを示すことができます。
- 印象づけ**：初対面の人との挨拶は、その後の関係に大きな影響を与えることがあります。丁寧で好意的な挨拶は、相手に良い印象を与え、良好な関係の基盤を築くことができます。
- コミュニティの結束**：挨拶は、コミュニティや集団の結束を強化する手段としても機能します。お互いに挨拶を交わすことで、共通の文化や価値観に基づく絆を深めることができます。
- 感謝の表現**：挨拶は、相手に対する感謝や尊敬を表す手段としても使われます。適切な挨拶は、相手に対する感謝の気持ちを伝え、関係をより良いものにします。

これら6つの理由からもわかるように、挨拶は人間関係や社会生活において欠かせない要素であり、その意義は大きいと言えます。

令和6年度、穴高生の挨拶が他の模範となるよう期待しています。笑顔で、明るく、大きな声で、相手が気持ち良くなるような挨拶ができる生徒になってください。また、穴水高校では、挨拶は《語先後礼》を基本にしています。徹底していきましょう。